

令和3年度 教員免許状更新講習 シラバス

講習 番号	1	講習名	【選択①】新学習指導要領に基づく国語科授業づくりと評価				
担当講師	開催地	時間数	主な受講対象者	受講人数	講習形式	試験方法	
門戸千幸	広島キャンパス	6時間	小学校教諭、及び中学校国語科教諭	30人	対面講義・演習	筆記	
開催日	8月24日（火）		予備日	8月27日（木）			
<p>【到達目標】 新学習指導要領国語科の目標や内容、評価規準のたて方を理解し、授業をデザインする力を身に付ける。</p>							
<p>【講習の概要】 本講座は、児童生徒が楽しく国語の力を付けられるような国語科授業づくりを求めて行う。ここでは、主に①新学習指導要領を踏まえた単元デザインの手順 ②評価規準の立て方 を講義と演習を通して理解し身に付けることとする。さらに、日頃の授業に活かせるようにアクティブ・ラーニングを通して楽しく国語科の指導力を発揮できるような授業アイデアを提案するとともに協議・検討する。</p>							
<p>【講習の内容】</p> <p>講義 1: 国語科改訂のポイント 平成 29 年に告示された学習指導要領は、小学校においては令和 2 年度、中学校においては令和 3 年度から全面実施される。今改訂に至った背景及び国語科の目標及び内容など改訂のポイントについて理解を深める。</p> <p>講義 2: 国語科における学習評価 学習評価は、児童生徒の学習成果を的確に捉え、教師の授業改善を図るとともに児童生徒が自らの学びを振り返って次の学びに向かうことができるようにするために極めて重要である。学習評価について基本的な考え方を理解するとともに観点別学習状況評価について国語科の評価規準のたて方を理解し評価規準のたて方の基本を学ぶ。</p> <p>講義 3: 国語科単元デザインの手順 講義 1 で学んだ言語活動を通して指導事項を身に付けさせるという国語科授業の基本と、講義 2 で学んだ観点別学習状況評価の評価規準のたて方を生かして、単元デザインの手順を理解し授業アイデアを考える。</p> <p>講義 4: 国語科単元デザインの手順 講義 3 で作成した授業アイデアを交流し実際に活用できるようにするとともに各自の学びを振り返り今後の国語科教育について展望する。</p>							
<p>【備考】 試験の際、講義資料とノートの持ち込みを認める。</p>							